未確認は事故のもと

交通安全指導の協議会開かる

右を見・左を見て・また右を

―子どもたちを交通事故から守るにはどのようにしたらよいか―ということについて話し合うため、今月3日白根小で「交通安全指導に関する懇談協議会」がもたれました。これには、警察署、交通安全協会交通安全に関するモニター、ＰＴＡ、最近交通事故にあった子どもたちの父兄など約30名が出席し、それぞれの立場で感じたこと、意見、要望などについてかっぱつな討議がおこなわれました。その中で、特に注目される点は、①交通指導は大衆と手を取り合って事故をなくそう。②右を見、左を見、さらにもう一度右を確かめる。③横断歩道だからといって安心しないように。④各市町村には、交通事故から人命を守るための指導をすることが義務ずけられているのだから、もうすこし力を入れてもらいたい。という四点でした。

この日、出席されたかたからそれぞれの立場でつぎのような意見、要望、感じたことが出されました。

まず学校側から、春秋の年二回一時間ずつの実地指導と交通マナーを理解させるための教習をやっていると説明があり、ついで警察側から、最近市内で発生した六件の子どもの交通事故について図解つきでつぎのような説明がありました。

警察官から説明を聞く出席者

1.道路のわきから左右を確かめないで飛び出した
2.横断歩道を通るときでも安心しないで

＝補導部からは＝
1.警察官と一緒に立っていると横断歩道の前でとまるがそうでないととまらない
2.子どもは、一人のときはマナーをよく守るが、集団になると守らない。

＝父兄からは＝
1.右を見、左を見たら、さらにもう一度右の安全を確かめて
2.車は人がいようといまいと横断歩道の前では一時停止をして欲しい

という、もう二度とこのような事故者を出したくないという愛情がうかがえました。

最後にしめくくりとして警察署長から「学校ですごす時間より家庭ですごす時間が長いのだから、あまり学校にばかりたよらず、家庭でも教えてもらいたい」というまとめがありました。

実施時期を考えて

空中散布の反省会で要望

七月二日から四日までの三日間おこなわれた「農薬の空中散布」の反省会が十一月三十日、厚生会館でおこなわれました。これには、農政課、農協、実施した地区の代表など約三〇人が出席し、この散布でよかったこと、わるかったこと、要望などいろいろのことが出されました。

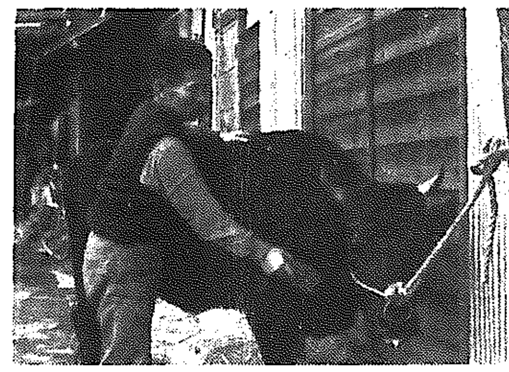
その中のおもなものは、①早くから計画するので、虫が出るときと一致しない。②稲の成育状況によって散布量を変えられない。③パイロットの技術が未熟であることから低空できないので散布ムラが出た。④機械の整備が充分でなかったなどでした。

このようなことについて市農政課では「②、③、④の問題点については解決できると思います。しかし、①の問題については、全国的に計画をたてるのでこちらの意志がそのとおりとおるとはかぎりません。なるべくこちらの意志にそうよう努力します」とかたっていました。

反省会のひとコマ

清水さんが二等に

―第五回　蒲原肥育牛共励会で―



新しい肥育牛の手入れに余念のない清水さん

十一月二十四日、吉田町で開かれた「第五回肥育牛共励会」で、本市から六頭出品された中で鯰潟の清水初太郎さんが二等、同じく鯰潟の五十嵐文一さんが三等というりっぱな成績をおさめてきました。

これは、三市三郡（三条市、燕市、白根市、西蒲原郡、南蒲原郡、三島郡）から出品された牛六十三頭のなかからこのような成績をおさめたもの。

この蒲原肥育牛共励会は〃蒲原牛の銘柄を確立し、地域農家の福利増進をはかろう〃というので昭和三十六年から吉田町の家畜市場で開かれたもの。

みごと二等になった清水さんは、いままでにも二等や三等は二、三度経験しているというベテラン。

本人は、小さいころから動物が好きで、この肥育牛をはじめたのは十年くらい前からとのこと。

肥育牛の育てかたにはいろいろあるけれども、清水さんの場合は二十四、五ヵ月くらいの牛を買ってきて、まる十四ヵ月くらいは牛がやせないか、体調はどうかと気をつかいっぱなしとのこと。

今回二等になったことについて清水さんは「毎日たんねんに手入れしたかいがありました。動物の好きなかたならだれでもやれると思います」とかたっていました。

第三日曜を家庭の日に

～楽しい一日を送ろう～

〃家族全員が顔をそろえておたがいに思っていることや言いたいことなどを自由に話し合える機会をつくり、いままでより健康で明るい家庭をつくり、青少年の健全な育成をはかろう〃ということで県、県教委、県青少年総合対策本部、県青少年問題協議会などが中心となって、来年の一月から毎月第三日曜を「家庭の日」にきめ、この日はなるべく外出しないで、家族全員が気軽に話し合うよう呼びかけています。

話し合いをスムースに進める方法としてつぎのようなことを上げています。

1.家族全員がつごうをつけて、顔をそろえる。どうしてもつごうがつかない場合は、夕食だけでも一緒にするようにする
2.魚つり、きのことり、将ぎスキーなどなんでもよいから、とにかく子どもといっしょになって遊ぶ
3.家族全員で力を出し合ってひとつの仕事をやる
4.子どもたちから出された意見や案などは無視しないようにして、子どもたちが積極的に話し出せるふん囲気をつくるように

成人式を迎えるかたへ

毎年一月十五日におこなっております「成人式」を来年も同じ日に厚生会館でおこなわれます。

来年厚生会館で晴れて成人式を迎えるかたは、昭和二十年四月二日から昭和二十一年四月一日までに生まれたかたで、当市に住民登録してあるかたです。

来年の一月七日から八ごろ該当者の家庭へ通知書が届くことと思います。

〃自分は該当するはずなのに通知書が届かなかった〃というかたは教育委員会（七二一三三三一）へ連絡してください。なお、当市に住民登録をしてないかたのところへは通知書が届かないと同時に、当市で成人式は迎えられませんから、住民登録をしてないかたは市民課窓口で手続きをすませてください。

一家に一枚ずつ配布

ロータリークラブ　防火ポスターを寄贈

十一月十九日、白根ロータリークラブから消防署に、六五〇〇枚の防火ポスターの寄増がありました。

これは、十一月二十六日から十二月二日まで全国一斉におこなわれる「防火週間」にさきがけて、同クラブが火災防止のために消防署へ寄贈したもの。

このポスターは、カット入りのもので、どのような注意をおこたると火災が発生するかなどがわかりやすく書かれています。

なお、これから寒さにむかうと火を扱う機会がおおくなってきます。

そこで消防署では、つぎのようなことを守って火災を出さないよう注意を呼びかけています。

1.燃焼器具（石油ストーブ、石油コンロ、ガスストーブなど）などの資料を家族全員で読み知っておく
2.外出、就寝などの前には火事のでないようよくたしかめて
3.冬かこいをしても、万一にそなえて必ず避難口を設けておく

皆沢会長（写真左）から今井署長（写真右）へポスターの寄贈

年賀状は22日まで

今年もまた年賀状の時期がきました。年賀状を書くときや出すときは、つぎのことに注意するよう郵便局では協力を呼びかけています。

◎あて先は、必らず都道府県名や市町村名、字、番地までしっかり書いてください。
◎子どもさんあてのときは世帯主を忘れずに
◎出すときは「自市あて」と「他市（町村）あて」とにわけてください。
◎十二月二十二日までに出された年賀状については、元日に届きますが、それ以後のものは元日に届くかどうかわかりません。

白根かわらばん

＜若者たちは大喜び＞

十二月五日（日）厚生会館で「働らく青少年のつどいと市民レクリェーション大会」がおこなわれ、約百名が参加しました。

新飯田浜おけさの講習

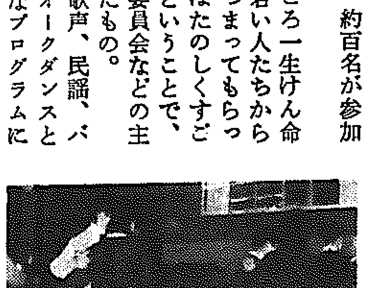
これは、日ごろ一生けん命働らいている若い人たちから同じ場所にあつまってもらってこの日一日はたのしくすごしてもらおうということで、県や市の教育委員会などの主催でおこなったもの。

この日は、歌声、民謡、バンド演奏、フォークダンスともりだくさんなプログラムに若者たちは大喜びでした。

＜フォークダンスのサークル誕生＞

〃われわれ若者だけでフォークダンスのサークルをつくり、たのしいひとときをおくろう〃ということで、十二月二十二日（日）厚生会館で同サークルの発会式がおこなわれました。

これは、いままで教委の主催でやっていたものを会員制にして、このサークルをガッチリしたものにしようというもの。いままでは、百六十名くらいの会員がいるそうで同サークルでは「好きなかたはいつでもどうぞ」と歓迎しています。



たのしい会員たちのひととき

お知らせ

■新津発八時五分を増発

いままで、新津発臼井まわり白根行きのバスで、午後六時三十分のあとは最終の九時二十分まではありませんでした。

〃これでは不便だ〃というので、市、商工会、新潟交通白根営業所に働らきかけたけっか、**十二月二十五日ころ新津発臼井まわり白根行き（白根どまり）八時五分のバスが一本増発されることになりました。**

□一月の農地相談室

来月の農地相談室はつぎのとおり開かれます。

農地の交換、売買、宅地転用などすべての農地問題について気軽にご相談ください。

1月	駐在室	
17日	新飯田	臼井
18日	大郷	小林
19日	庄瀬	鷲巻
20日	根岸	茨曽根

■市役所からでる文書で不足はありませんか

市役所関係からみなさんの家庭に届くチラシ、文書、回覧広報紙などで余分にくるとか、不足しているというようなことはありませんか。そのような部落や町内がありましたら、部落や町内の代表のかたは市総務課の庶務係（電話七二一一二一一一番）へ連絡ください。連絡の方法は、電話、文書などどのような方法でもけっこうです。

□ふなおか学園の職員を募集

来年の四月から開園される「ふなおか学園」では、つぎのような方法で職員を募集しています。

1.募集人員　児童指導員五名、保母七、八名、調理師一名、調理婦二名、用務員一名
2.申込み方法　採用申込み書を「五泉市役所厚生課」へ請求してください。
3.申込み期限　昭和四十一年一月三十一日

なお、くわしく知りたいかたは福祉事務所へ問い合わせください。

■保育所の入所希望者へ

福祉事務所では、一月十日から月末まで保育所の入所申請書の受付けをおこないます。希望のかたは、期限までに申込みください。